

9月13日(日曜日)「幸福の考えの違い」

【新改訳 2017】

ルカ 6.24-26

「しかし、あなたがた富む者は哀れです。慰めをすでに受けているから。」(24 節)

この箇所では、4 つの哀れな状態を挙げて、幸福の考え違いを指摘されています。今富んでいる人、今食べ飽きている人、今笑っている人、今皆の人にほめられる人は「哀れである」と主は言っておられます。なぜでしょうか。ほとんどの人はこのような人を幸せと思っているはずですが。

しかし、よく考えると、次のことがわかります。①そのような満足は「今」だけのことで、一時的なものでしかありません。したがって、将来、特に試練が来た時や死後の世界にまでは慰めを与えるものではないのです。②また、それらは物的な満足、人間同士の満足であって、永続的、霊的な満足、創造主なる神との間のものではありません。ですから、それは人間を真に幸せにすることはできないのです。人はパンだけでなく、神のことばによって生きる

ものだからです(マタイ 4.4 参照)。

～祈り～

主よ。物質的な富で満足している人が、それらは一時的で、たましいに真の慰めをもたらすものでないことに気づき、あなたに目を向ける者となるようにしてください。

**【学びのために】**

ルカ 12.13-21 参照。